

様式第 4 号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和元年度第 1 回西脇市手話施策推進会議
開催日時	令和元年 6 月 11 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は 人数（敬称略）	嶋本恭規、鳥越隆士、丸山昭彦、川崎佳子、 久保佳奈子、森脇奈穂美、高橋康子、永井寿幸
欠席委員の氏名又は 人数（敬称略）	岡崎隆吾、藤原進、大橋正子、藤原竜俊
出席職員の職・氏名 又は人数	福祉部 部長 細川喜美博 社会福祉課 課長 伊藤景香 社会福祉課 課長補佐 村上昌隆 社会福祉課 主任 藤田亜依子
傍聴の人数	2 人
協議又は協議事項	(1) 平成30年度手話施策の総括について (2) 令和元年度手話施策の計画について
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	・委員の出席は 7 名、2 名の傍聴を許可する。
部 長	・部長あいさつ
事務局	・委員及び事務局の 4 月 1 日付けの人事異動による交代の紹介 ・議事録署名委員の指名 嶋本会長と久保委員に決定
会 長	・会長あいさつ みなさん、こんにちは。 先日、韓国で障害者権利委員会委員のキムさんに会い、今年の 9 月に、日本政府と障害者団体等に対して施策等をきちんとやっているのかという調査がスイスで行われると聞いた。日本は、手話言語法ができていない。私たち聞こえない者の団体としては、手話言語法を早期に作ってほしいと要望している。その上で、手話や手話通訳を学び、手話を聞こえない人たちが利用していく、活用していく

	<p>ということになる。政府に対して働きかけをしているところである。</p> <p>もう一つは、6月12日に東京で全国手話言語市区長会の総会が開かれる。兵庫県ではすべての市が入会してくれたが、これからの課題としては、条例を作って終わりではなく、その中身をさらに深めていく、充実していくことが大切だと思っている。</p> <p>最後に、うれしい話がある。エルサルバドルで新しい大統領が選ばれた。聞こえない両親を持っており、大統領になるときのあいさつは本当に興味深いものだった。時間があればインターネットで見たい。以上であいさつを終わる。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・設置通訳者が今年3月末で退職し、現在引き続き募集を行っていることを報告。 ・資料確認 <ul style="list-style-type: none"> ○会議日配布資料 会議次第、委員名簿、資料1～5、参考資料 ○事前に郵送で配布した資料 「第1回西脇市手話施策推進会議資料」
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・協議事項(1)について、事務局から説明を願う。
事務局	<p>(1) 平成30年度手話施策の総括について説明</p> <p>■協議事項(1)に関する質疑応答</p>
委員	<p>4ページの「ポケ手話」について、配布方法と対象者は。効果はあったのか。</p>
事務局	<p>市職員が閲覧できる掲示板に掲載し、各自で作成するようPRしている。意識して持っている職員もいると思う。手話に興味を持つ職員が増えるのではないかと思う。</p>
委員	<p>11ページの小中高での手話講座について、二つあるが、内容は同じものか、ステップアップしているのか、違いを教えてください。</p>
事務局	<p>福祉学習については、小学校4年生の福祉学習の一環として、聞</p>

	<p>こえないことや手話について学ぶことを指している。手話講座は、イメージとしてはステップアップである。さらに手話の技術を高めるということではないが、もう少し手話を勉強したいという要望を受け、設置通訳者が講座を行っている。ステップアップとはいえ、4年生以外を対象とした学校もあり、全学年あるいは親子教室の形で行われたところもあった。対象としては、福祉学習をした子どもだけではない。</p>
委員	<p>9ページの消防署と警察署の職員手話研修について、聴覚障害者協会に依頼がなかったが、なぜか。また、1月31日に医師会の手話講座があったと聞いたが、この資料にないのはなぜか。</p>
事務局	<p>消防署と警察署の手話研修については、設置通訳者が打合せに行っており、その中で、今回は設置通訳者で対応と決まったと思う。 医師会の手話講座は、企業向けの手話講座の中に含まれている。</p>
委員	<p>西脇市の手話施策推進方針の1番に、手話の普及と理解の促進とあり、一人でも多くの人が手話に関心や親しみを持ち、ろう者と交流することで、手話に対する理解が深まると書いてある。設置通訳者だけが行って行くものではないと思う。例えば時間が30分程であれば仕方がないとも思うが、講座にろう者がいなかったのは、方針に合わないと思う。</p>
事務局	<p>企業や地域向けの手話講座の目的は、手話に興味を持った方に、気軽に手話に触れていただくことである。入門講座や基礎講座はハードルが高い部分があるので、気軽に申し込めるように、5人程度集まれば申込みができるとお知らせしている。講師に関しては、原則としてろう者1名・手話通訳者1名と考えているが、設置通訳者だけで対応してほしいという依頼もあり、柔軟に対応している。ただ、聞こえない方と交流していただくのが原則なので、講座の中ではそこへ繋がるような案内をしてきたつもりである。</p>
会長	<p>他に意見がなければ、次に進んでよいか。 ・協議事項(2)について、事務局から説明を願う。</p>
事務局	<p>(2) 平成30年度手話施策の計画について説明</p>

	<p>■協議事項(2)に関する質疑応答</p>
委員	<p>ポケット手話のシールを作成する計画だが、見本はあるか。</p>
事務局	<p>これから作成するが、ポケ手話のイラストの無いものに、イラストのシールを貼っていくというイメージである。例えば、「こんにちは」のところに手話の「こんにちは」というシールを探して自分で貼るとするような、子ども向けの福祉学習にいいのではないかという検討を進めている。</p>
委員	<p>15ページの入門課程について、15回と聞いているが何回か。また、毎週木曜日に開催されているが、手話サークルの開催日と同じなので、ずらしてもら方がいいのだが。</p>
事務局	<p>社協からは、20回で開催したいが講師と調整中だと聞いている。また、会場の萩ヶ瀬会館は、夜間に開館できる日が木曜日しかないため、その日に開催していると聞いている。</p> <p>入門講座は社協の事業であるため、来年度に向けて社協も含めて相談したい。</p>
委員	<p>市でいろいろな啓発活動をしていただきありがたいと思っているが、フィードバックや継続する方法をそろそろ考えないといけないのではないかと思う。</p> <p>先日、西脇高校生活情報科の福祉学習に行き、生徒たちに、『手話言語条例に基づいて、市民の皆さんに手話を啓発したり広める方法を考えてください』という宿題を出したら、いい回答が返ってきた。例えば、学校の朝の10分間の読書の時間に手話をする、手話ウィークを作りその週は手話をする、西高生が作った動画を基に皆で一緒に継続的に学ぶ、手話のクイズや手話の問題集、プリントなどを作って、回答したものを市役所に持っていったら景品がもらえるなどの意見もあった。</p> <p>自分でも考えてみたが、エコポイントのように、行事に参加したり宿題を提出したらポイントがもらえ、貯めると抽選会に行けるものがあればいいと思う。エコポイントとコラボしたり、手や頭を使ったら認知症の予防運動にもなるといった意見も出ている。</p> <p>そのように広がってきたら、次はフィードバックと広める工夫を</p>

	<p>具体的に考えてもらったらいいのではないか。</p> <p>もう一つ高校生の意見で、ツイッターに毎日手話のイラストが載るようなものがあったら面白いというものもあった。いい提案をしてくれたので、また資料を持って行く。</p>
会 長	<p>いい提案があった。他に意見はないか。</p>
副会長	<p>全体的なことだが、今年度継続実施ということは、昨年度の事業はそれなりに成果があったからそのまま続けていくということで、見直しがあるというのは、何らかの課題があって、継続するよりも、また新たな形に展開するとか修正していくということだと思う。平成30年度の総括で、何をしたというだけでなく、どういう成果や課題があったのか、評価が必要だと思う。その評価に基づいて、今年度の計画を立てることが大切であり、次回から評価の部分を是非とも入れていただきたい。</p> <p>また、動画配信されているが、カウント数はチェックをしているのか。何千、何万回とあつたらすごく大切なことだし、内容を変えるとカウント数が増えるとか、情報を発信しているのだから、どのくらい情報が伝わったのかという評価はしてほしい。</p> <p>11ページの小中高での手話講座は、昨年度は福祉学習と手話講座の2つを行っているが、今年度は福祉学習として実施予定ということは、手話講座としての実施は取りやめるということになるのか。もしやめるのであれば、根拠なり理由が必要と思う。</p> <p>それに関連して、講座や研修は、1回あるいは数回の手話講座はかなり人を集めている。トータルしたら昨年度 2,000人ぐらいである。単発はすごくやっているなという印象だ。子どもたちに関しては、その単発の講座で手話に接した子どもたちをどんなふうに西脇市の核になってくれるような子に育てるのか。夏休み期間の手話教室は今年度も実施するので、福祉学習などで手話に接した子どもたちを育てていくような戦略が必要だと思う。こういう講座に必ず参加してくれる子どもたちをどんなふうに作っていくのか、先ほど委員が言われたいろんなアイデアが必要だと思う。しっかりと総括した上で、計画や企画を立てることが必要だと思う。</p> <p>単発講座の受講者数は非常に多いが、残念ながら、養成講座は昨年の受講者は5名である。この数が十分なのか評価が必要である。通訳 I の受講者は0名である。手話通訳者派遣は、29年度が 152件、</p>

	<p>昨年度が 134件である。これは、本当に十分な数なのかどうか、評価する必要があると思う。利用者が33名なので、平均すると一人当たり 4回であり、多いのか少ないのか。134件のうち登録通訳者がどれくらいの件数を担ったのか。手話通訳者養成講座は、通訳Ⅰ、Ⅱ、それから試験対策とあるが、十分なのか。評価して、もしそれが足りないのであれば、どんなふうに手話通訳者を養成するのか、戦略が資料から見えてこない。継続実施の裏に何があるのかを、もう少しきちっと評価する必要があるのではないか。特に手話通訳者養成講座の受講者数が、西脇市の数が一番少ない印象を受けたので、少し検討する必要があると思う。</p>
事務局	<p>動画の視聴回数については、第1弾のあいさつ編が 614回、接待編が 139回である。この数が多いか少ないかは、神戸市が配信されている動画は 2,000から 3,000の視聴回数があるが、隣の加東市だと10回から 100回程度である。多くはないがそんなものかと思うが、もう少し見ていただきたいと思う。昨年1年間の西脇手話チャンネルのアクセス数は1,838回で、西脇市の動画配信の中ではトップの数字である。</p> <p>養成講座については、昨年度の入門講座が昼に開催されており、昼の講座は受講生が集まりにくい印象だ。単発の講座から入門講座になかなかつながらない。手話に一度でも触れていただくことを目標に今までやってきており、一度でも触れた方がこれだけおられることは評価できていると思うが、そこから次へつながらないことは課題である。今後それをどうしていくか。継続的にたくさん講座ができればよいが、市がそれをするのは難しい部分がある。聴覚障害者協会や手話サークルの方にお世話になって、講座を開催していくことにするのであれば、次はその講師を育てたり、効果的なカリキュラムの検討が今後の課題になる。</p> <p>通訳Ⅱの受講生が0人で、残念ではあるが、手話通訳者養成講座に入るところまで育った手話学習者が、通訳Ⅰに3名おられるので、自信をもっていいことだと思っている。西脇市が他市に遅れているのではないと思っている。</p>
委員	<p>16ページの手話通訳者統一試験試験対策講座の受講生のうち、何人が合格したのか。</p>

事務局	残念ながら、昨年度合格者は0人である。
委員	現在、西脇市の登録手話通訳者は何名か。
事務局	登録者数は9名で、実働7名である。
委員	17ページ、緊急時についてだが、心肺蘇生の講習を、1度では忘れてしまうので、年間2回ぐらい、計画として絶対やってほしい。命にかかわる大事なことなので、是非願います。
事務局	緊急FAXの練習も含めて、消防署の協力を得て継続して実施してきた。市として実施することが必要だと思っているが、自分たちで申し込んで実施することもできる。全て市で実施するのは難しい部分もあるので、御理解いただきたい。
会長	他に質問、意見等ないか。 今の緊急に関係することだが、消防署員と警察署員対象の手話研修については、未定であるが継続してほしい。前年度があいさつ程度の簡単な手話ということで、本当に導入でしかない。緊急時に関わる機関なので、継続して手話の学習は続けるべきだと思う。できれば、ろう者が被害者になったデモンストレーションや、実際に聞こえない人がいるとどのような事が起きるかということも、現場の方に知ってほしい。何かが起こってから動くのではなく、起こりうることを想定して、役に立つ研修にしてほしい。
事務局	医師会や消防署、警察署の方対象の研修は、今年も継続することが大事だと思っている。聴協さんやサークルさんにも協力してもらい、ステップアップした形で計画したいと思っているので、協力をお願いします。
会長	他に意見、質問等あるか。
委員	14ページ、暮らしの中で必要な情報提供にあるが、タクシーをファックスで申し込めるのはうれしい。でも、予約のファックスをしたが、当日に来なかったということがあったそうだ。どうしたらいいのか。

事務局	<p>ファックス予約については、タクシー会社と調整した際に、申込を受けた時に返信する様式を作成した。改めてタクシー会社にファックス予約について周知しておく。</p>
会 長	<p>他に何か意見、質問等ないか。 委員から話があるようなので、お願いします。</p>
委 員	<p>先週の土曜日に、西脇市聴覚障害者協会の役員会で出た意見をまとめた。</p> <p>1つ目は、設置通訳者がいないが、募集の状況を聞きたい。</p> <p>2つ目は、市役所で手話が通じなくて、非常に不安であった。</p> <p>3つ目は、医師会の手話講座はなぜ設置通訳者だけで対応したのか。手話言語条例ができる前の懇談で、「私たち抜きで私たちのことを決めないで」と話したが、聴覚障害者協会抜きで講座を開いたことについてどう思うか。</p> <p>4つ目は、推進会議を夜間に開催してほしい。</p> <p>5つ目は、西脇市聴覚障害者協会がフェイスブックを立ち上げた。市からも情報提供をお願いしたい。</p> <p>6つ目は、手話動画の編集を聴覚障害者協会の会員が担当してきたが、大変忙しくて時間がない。市でお願いできないか。ただし、私たちと一緒に相談をしながら作ることを希望している。</p>
事務局	<p>設置通訳者については引き続き募集を行っている。</p> <p>2つ目について、日常会話程度ができる職員が5～6人いるが、詳しい話となると難しい。了承してほしい。</p> <p>医師会の手話講座の件だが、ろう者が要らないのではなく、あくまで先方の希望で、今回は設置通訳者が行ったと聞いている。当事者と話してもらい、いろんなことを感じてもらうのが一番だが、難しいこともある。手話についてや、聞こえない人の暮らし、あるいは通訳者として病院へも同行するので、医師にどんなことを知ってほしいか、など、設置通訳者としてできる部分もある。今後も、設置通訳者で対応することもあり得るが、信頼していただけたらと思う。</p> <p>また、動画の編集については、市の方に編集できる者がいなかったため協力していただいていた。現在は、市に映像専門の職員がいるので、一緒にできないか今後検討していく。</p>

委員	<p>医師会の講座については、命にかかわることなのでどうしてもやってほしい。設置通訳者が話をした後、聴覚障害者にも様々な人がいるので、実際に出会ってもらうことが大切だと思う。だから、講師と一緒にろう者も行ってもらいたいと思う。</p>
事務局	<p>最初にも申し上げたが、聞こえない方と一緒にいくのが原則である。結果的に聞こえない方から教えてもらってよかったという感想が出るのも当然であって、それもよく分かっている。</p> <p>医師会では、前はまず役員が集まって勉強して、それから各医院で開催する方向で進めたいと聞いているので、今年度はたくさん依頼があるのではないかと考えている。協力をお願いしたい。</p>
会長	<p>他にはないか。なければ、これで協議は終了する。事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>大変参考になる意見をいただいたので、今後の施策の参考にしたい。市としても、様々な方と協力しながら進めていきたいと思っており、今後ともよろしく願います。</p> <p>次回は、10月頃に開催したいと考えている。それまでに意見があれば、事務局に伝えていただきたい。よろしく願います。</p>
会長	<p>他になければ、これで閉会する。閉会のあいさつを副会長に願います。</p>
副会長	<p>非常に活発な意見があったと思う。手話言語条例を施行して2年が過ぎ、いろんな人に頑張ってもらっている。今後、5年ぐらいを目途に、手話言語条例にうたってあることをどれくらい現実のものにしていくのか。10年後、手話言語条例に基づいた西脇市のイメージはどうなっているか。中間経過も少し考えながら、次回の会議を開催していただければと思う。これで会議を終了する。</p>